

学校支援

令和2年 12月 25日 NO.9

発行：北広島市学校支援地域本部
 連絡先：北広島市教育委員会社会教育課内
 TEL 372-3311(内線4847)
 Fax372-4525
 学校支援コーディネーター
 伊藤 登喜子

【大曲小学校】

～外国語指導～



外国語指導：1年生



外国語指導：2年生

【大曲東小学校】



外国語指導：2年生

大曲小学校では、今までに4回、大曲東小学校では、合計3～5回、低学年、特別学級の外国語指導員の野崎 梨恵氏、石尾 直子氏のご協力を得て行っていました。

毎回、子ども達は生き生きとした表情で、楽しく英語に触れる時間を過ごしています。

～福祉学習～

「聴覚障がいの方の講話」

大曲東小学校4年生は、総合的な時間で福祉の学習を行っています。11月27日(金)に「聴覚障がいの方の講話」を障がい者生活支援センターみらい ピア・カウンセラーの村木 絹子氏、北広島市専任手話通訳者の武田 美代子氏を招聘して実施いたしました。子ども達は、この日まで事前に聴覚障がいの方の生活や、手話を勉強していました。それぞれ学習した事を基に直接質問することで理解を深める事が出来ました。

【大曲東小学校】



聴覚障がいの方の講話

【大曲東小学校】



肢体障がいの方の講話



「肢体障がいの方の講話」

大曲東小学校 4年生の福祉学習第2弾として、12月8日(火)、16日に、障がい者生活支援センター「みらい」ピア・カウンセラーの高橋 諭 氏を講師に招いて実施しました。

高橋さんは、25歳の時に仕事中に事故に遭い、頸椎損傷の大けがをしました。

病院のベッドでこれからの人生について考えたことや、四肢不自由でも、車いすや身障者用の乗用車を使用していること、たくさん練習して手にペンを固定して再び字を書くことが出来るようになったことなどを、お話しをして下さいました。「親を大切にしてほしい」「目標を持ち、それに向かって努力し、できることをひとつずつクリアしていくこと」など、講話を通して子ども達に伝えて下さいました。

「高齢者疑似体験」

大曲東小学校 4年生の福祉学習第3弾として、12月15日(月)、16日(水)に北広島市社会福祉協議会の職員を講師に招いて、実施しました。

子ども達は視界が狭くなったり、手足が思うように動かなかったりする状態で、階段の上り下りをするのは大変だ！という事を体験しました。

普段私たちが当たり前に行っている動きに「あれ？やりにくいな？」「あれ、ちょっと困ったな」という感覚を体で感じてみることで、無理に頑張らないこと、その不安定感をそのまま受け入れることなどの大切さを、体験を通して学習を深めることが出来ました。

【大曲東小学校】

